

第4回 談話会

日時：2025年12月25日（木）18：00～19：30

場所：横浜クリニック 7F 会議室

インプラント支持型可撤性補綴装置 の選択基準と治療法について —オーバーデンチャーと IRPD—

講師：佐藤 洋平 先生

歯科佐藤 横浜鶴見 院長
鶴見大学歯学部口腔リハビリテーション
補綴学講座 臨床教授

2001 鶴見大学歯学部卒業
2001-2005 鶴見大学大学院歯学専攻 博士(歯学)
2005-2013 鶴見大学歯学部歯科補綴第一講座 助手
(2007-職名変更:助教)
2007-2008 Visiting Scientist, Texas A&M Health, Science Center,
Baylor College of Dentistry, Department of Biomaterials Science
2013-2023 鶴見大学歯学部有床義歯補綴学講座 講師
2023- 鶴見大学歯学部口腔リハビリテーション補綴学講座 臨床教授
2023- 歯科佐藤 横浜鶴見



インプラント歯学の固定性補綴を基本に発展し、相容れないものとして、部分床義歯や全部床義歯による対応が行われていた。しかし、2002年のMcGill コンセンサス以降により下顎無歯顎治療においては、2IODが第一選択と考えられるようになった。また、回転変位を抑制が困難な部分床義歯の難症例においてもインプラントを配置することが有効である。今回の講演ではIODやIRPDの基本的な考え方や埋入位置の工夫、支台装置の検討について論じたい。

担当部署：クラウンブリッジ補綴学・顎・口腔インプラント学・口腔再生インプラント学

神奈川歯科大学学会